



個人投資家向け会社説明会

2026年8月3日



大倉工業株式会社

証券コード：4221

C O N T E N T S

1. 会社概要
2. 中長期的な成長戦略
3. 株主還元・株主優待
4. 参考資料



1. 会社概要

会社概要

証 券 コ ー ド	4221 東証プライム市場 業種 化学
社 名	大倉工業株式会社 Okura Industrial Co., Ltd.
本 社 所 在 地	香川県丸亀市中津町1515番地
設 立	1947年7月11日
従 業 員 数	連結 2,211名 単体 1,072名 (2026年6月末)
事 業 内 容	合成樹脂事業:各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売 新規材料事業:光学機能性フィルム等の製造販売 建材事業:パーティクルボード、加工ボード、加工合板、木材加工、宅地造成及び建物建築等の製造販売
グ ル ー プ 会 社	連結子会社・非連結子会社(国内14社、海外2社)
	(株)KSオークラ (株)九州オークラ (株)埼玉オークラ (株)カントウ
	(株)オークラプロダクツ (株)オークラパック香川 (株)ユニオン・グラビア (株)フジコー
	(株)オークラプレカットシステム (株)オークラハウス (株)オークラBMワークス オークラホテル(株)
	オークラ情報システム(株) 大倉産業(株) 無錫大倉包装材料有限公司
	OKURA VIETNAM CO.,LTD.(オークラベトナム)
	関連会社(国内4社、海外2社)
	大宝(株) オー・エル・エス(有) 大友化成(株) 尤妮佳包装材料(天津)有限公司
	合肥京倉新材料科技有限公司 中讃ケーブルビジョン(株)

連結業績・財務・株価【2025年実績】

2025年実績			
売上高 ▲ 866.5億円 (811.9億円)	営業利益率 ▲ 7.1% (5.6%)	株価 (2025年12月末) ▲ 4,865円 (3,010円)	DOE (連結自己資本配当率) ▲ 3.5% (3.0%)
営業利益 ▲ 61.8億円 (45.6億円)	EBITDA ▲ 112.1億円 (99.6億円)	時価総額 (2025年12月末) ▲ 603億円 (373億円)	配当性向 ▲ 58.2% (44.6%)
経常利益 ▲ 64.2億円 (51.1億円)	ROE ▼ 6.1% (7.1%)	PBR (2025年12月末) ▲ 0.87倍 (0.59倍)	総還元性向 ▲ 89.8% (72.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益 ▼ 38.1億円 (43.5億円)	自己資本比率 ▲ 61.2% (60.2%)	1株当たり配当金 ▲ 195円 (160円)	配当利回り (2025年12月末) ▼ 4.0% (5.3%)

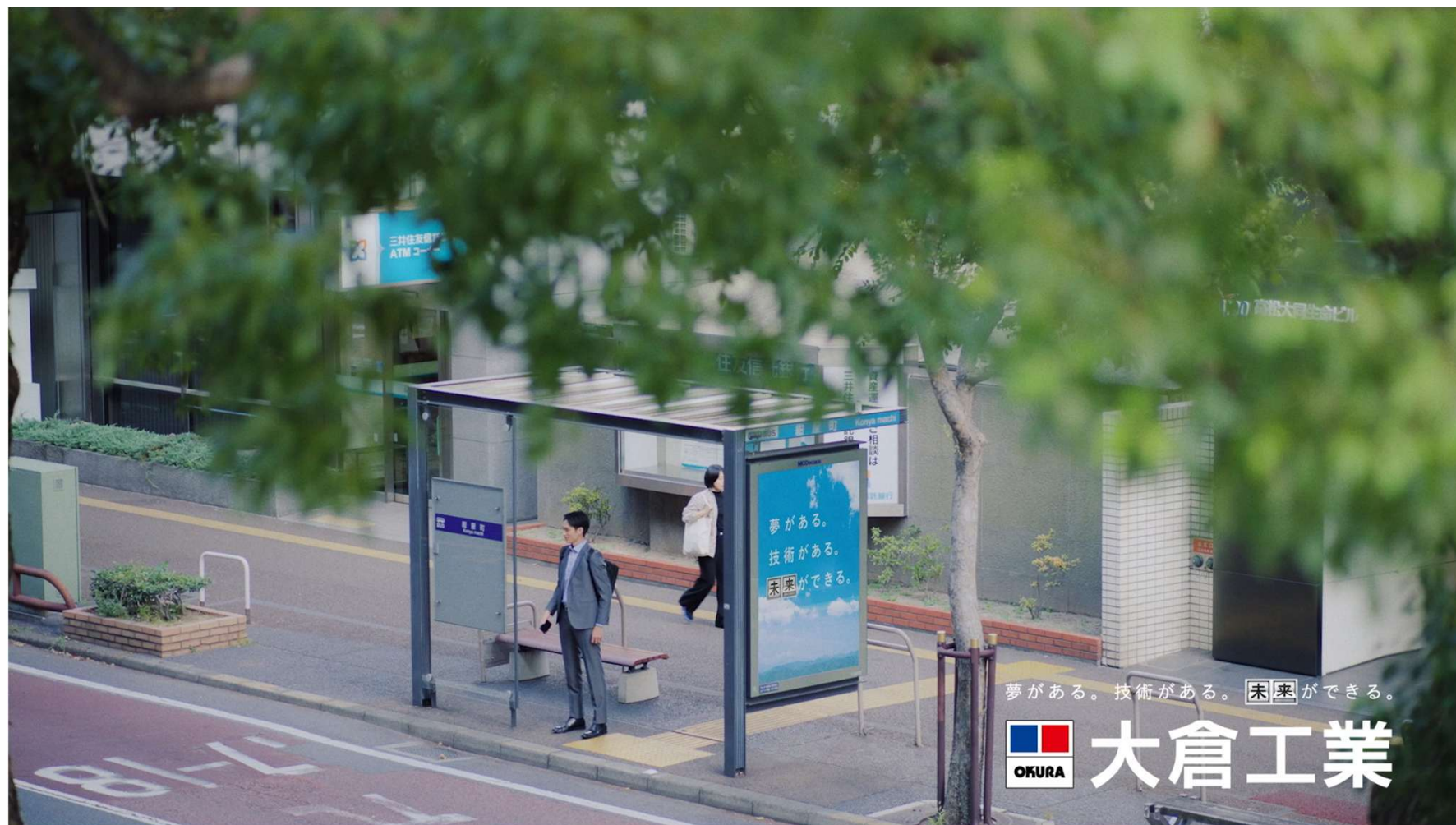
※カッコ内の数値は2024年実績

連結業績・財務・株価【2026年中間期実績】

2026年中間期実績		
売上高  524.9 億円 (435.5億円)	営業利益率  10.1 % (8.0%)	株価 (2026年6月末)  4,770 円 (4,310円)
営業利益  53.1 億円 (35.2億円)	EBITDA  80.8 億円 (58.8億円)	時価総額 (2026年6月末)  592 億円 (535億円)
経常利益  54.4 億円 (34.9億円)	自己資本比率  53.4 % (60.0%)	PBR (2026年6月末)  0.82 倍 (0.79倍)
親会社株主に帰属する当期純利益  37.3 億円 (25.5億円)		

※カッコ内の数値は2025年中間期実績

会社紹介動画



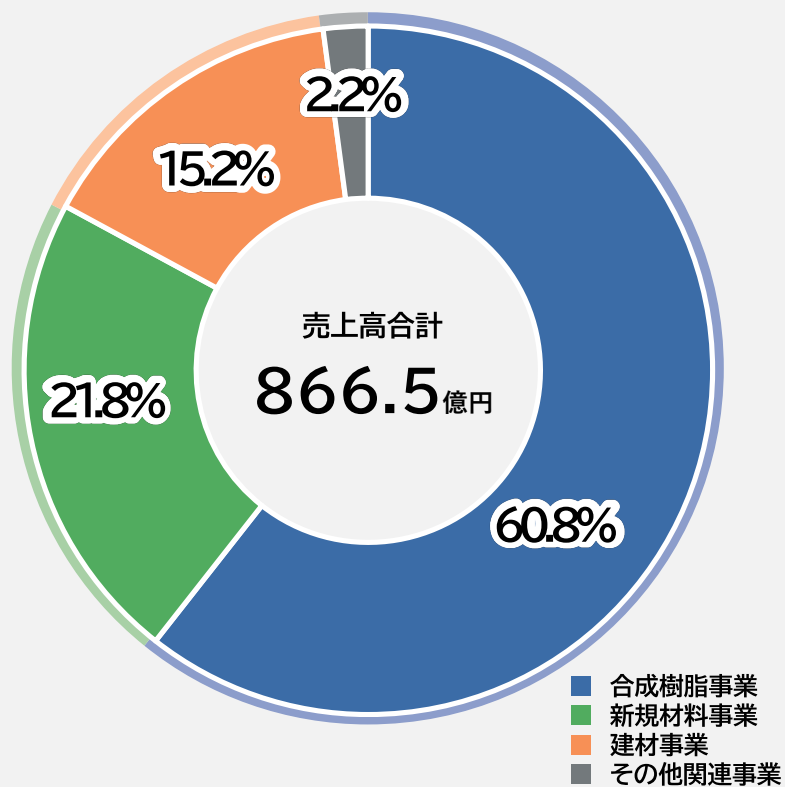
夢がある。技術がある。未来ができる。



大倉工業

事業内容

事業別売上高比率



合成樹脂事業

暮らしに必要不可欠な包装用プラスチックフィルムを提供しています。食品包装などのパッケージから高度な技術を要する産業資材まで多岐に渡って使われ、日々の暮らしの中で役立っています。



新規材料事業

「世界に向けてキーパーツを発信」という事業VISIONを掲げ、スマートフォンやTVなどに使われる光学フィルム、自動車部材、医療用途に使われるウレタンエラストマーフィルム等の高機能製品を世界のユーザーに届けています。



建材事業

住宅や家具などの生活に密着した製品の材料となる、様々な部材を提供しています。長年育んできた化粧技術や加工技術をベースとした高い技術により、住空間を優しく包みます。



事業紹介 ～合成樹脂事業～

幅広い分野を包括する製品群。さまざまな形で包み込むための技術が強みです

【事業領域】 生活サポート／プロセス機能材料／環境・エネルギー



シュリンクフィルム包装例



ラミネートフィルム包装例



リキッドパック(製品名:OKテナー®)



プロセスマテリアル製品



ベーシックマテリアル製品
(製品名:NIOGUARD®)



アグリマテリアル製品
(製品名:省之助®)

事業紹介 ～新規材料事業～

果てしなく進化する最先端技術。その進化を支えるのが私たちの使命

【事業領域】 生活サポート／情報電子／プロセス機能材料／環境・エネルギー



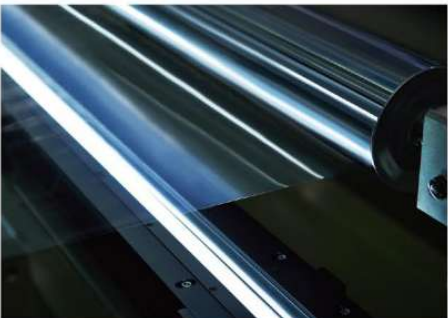
ウレタンエラストマーフィルム
(ヘッドレスト等の一体発泡成形製品用途)



ウレタンエラストマーフィルム
(医療用ドレッシング用途)



無溶剤型アクリル系接着剤
(金属板補強材の接着)



偏光板保護フィルム、位相差フィルム
(製品名:OXIS®)



中間転写ベルト

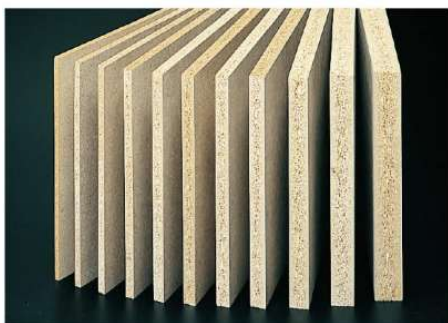


内視鏡用ウイルス感染防御システム
(製品名:Endo barrier®)

事業紹介 ～建材事業～

建物を襲う水や湿気、汚れ、衝撃など、大倉工業の建材は、これらを防ぎ、あなたの暮らしを守ります

【事業領域】 生活サポート／環境・エネルギー



パーティクルボード
(製品名:オークラボード®)



化粧パーティクルボード



構造用パーティクルボード
(製品名:Rex Board®)



JAS製材・集成材



株式会社オークラハウス



株式会社オークラプレカットシステム

事業環境の変化と当社への影響

経営環境はグローバルレベルで予測を上回るスピードで変動しており、組織や戦略を柔軟に対応させることが必要不可欠

社会情勢	国内は少子高齢化に伴う人口減少及び低成長、海外はアジアを中心に人口増加及び経済発展が継続	→ 国内需要は縮小も消費者のニーズは多様化、高度化し、海外需要は拡大している
	脱炭素化推進により循環型経済が進展	→ 持続的発展可能な成長と社会づくりへの企業の貢献が求められる
	IoT、AI技術の発展	→ デジタル技術を活用した生産性、競争力、収益力の強化が求められる
当社を取巻く環境変化	合成樹脂事業	新規材料事業
	建材事業	その他
	- 中国のエチレン生産能力増強により国内エチレンメーカーの再編が加速 - 省資源化、脱プラスチック化の流れが加速 - モビリティ分野での技術革新（EV、軽量化、塗装代替、自動運転等）	- ディスプレイ市場の大画面化指向の継続、偏光板需要年率2～4%伸長 - 高精細、高輝度、広視野角などディスプレイの高機能化
	- 新設住宅市場は縮小も、非住宅やリフォーム分野は伸長 - 都市部のマンション需要は一定水準を維持 - 国土強靱化政策の推進等により、老朽化したインフラの更新工事等、土木分野の需要は拡大	- 医療市場は、技術の進化、デジタル化やAI活用推進により安定成長 - モビリティ市場は、環境規制、脱炭素化による新たな市場機会創出

当社の強み

当社の強みは、「材料設計技術」と「加工技術」です。また、各事業セグメントを通じて幅広いお客様への販路と調達先を持っているという強みも合わせ、注力領域の中で、成長する分野・用途をキャッチアップし、新たな製品開発、新事業の創出を目指します。

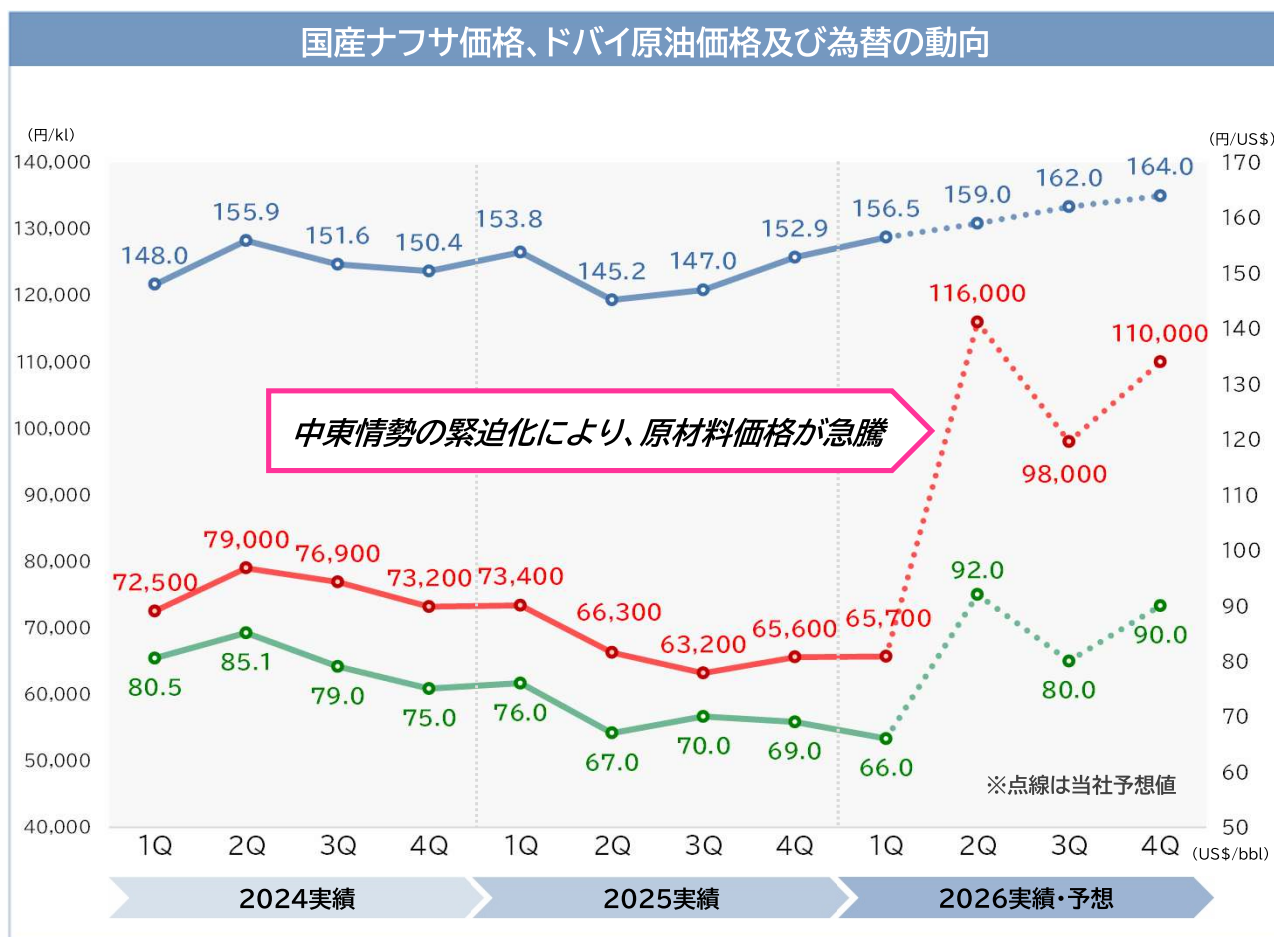
	領域	分野	合成	新規	建材	強み
生活サポート	人々の安心で快適な生活を支える事業	ライフサイエンス 食料・飲料 住環境 生活用品 アグリカルチャー	●	●	●	多種多様な分野での顧客とのネットワーク
情報電子	情報通信に関する事業	情報電子		●		光学フィルム加工メーカーのフロントランナー
プロセス機能材料	製品製造に役立つ部材で貢献する事業	プロセス機能材料	●	●		商品開発力・成型技術のノウハウ蓄積
環境・エネルギー	環境・エネルギー負荷を軽減する事業	環境・エネルギー	●	●	●	ユーザー・商社・流通とシステム連携

2. 中長期的な成長戦略

①足元の事業環境と業績

～中東情勢の影響を乗り越え、過去最高益へ～

原材料価格の高騰を乗り越え、外部リスクを『成長の強み』へ



危機への当社の対応

- 国内外に多数の調達先を確保し、安定的な操業を継続
- 原料配合の知見や技術力を強みに、最適な代替品を顧客へ提案
- 適時、製品価格に反映し、利益を適正に維持・確保

「安定的な調達基盤」
「柔軟な製品設計」
「機動的な価格改定」
「着実な構造改革」

これら相乗効果により、シェア向上と安定収益を確保

全利益項目で過去最高益の更新へ

【上方修正】中間期の勢いを追い風に、通期予想を大幅に引き上げ

(億円)

増収



フジコーの連結子会社化が寄与

大幅増益



価格改定、生産性の向上などによるコスト削減を推進

増配



堅調な業績を受け、株主還元の拡充を実施

営業利益、経常利益、当期純利益
すべて過去最高益の見通し

	2025年	2026年			
	実績	当初予想	修正予想	当初予想増減額	当初予想増減率
売上高	866.5	980.0	1,030.0	+50.0	+5.1%
営業利益	61.8	65.0	85.0	+20.0	+30.8%
(営業利益率)	7.1%	6.6%	8.3%	+1.7P	-
経常利益	64.2	67.0	87.0	+20.0	+29.9%
当期純利益	38.1	43.0	57.5	+14.5	+33.7%
1株当たり配当金	195円	220円	240円	+20円	-



②中長期的な成長戦略

～経営ビジョンNext10(2030)と中期経営計画(2027)～

経営ビジョン『Next10(2030)』の全体像

注力する領域

人々の安心で快適な生活を支える事業

食・アグリ、住空間、生活用品、ヘルスケア、医療

環境・エネルギー負荷を軽減する事業

サステナブル材料、減量化、リサイクル、省エネ

情報通信に関する事業

高速通信、フレキシブルデバイス、モビリティ

社会から
信頼される企業

技術優位な
企業集団

Next10(2030)
— 次の10年に向けた「ありたい姿」—
「要素技術を通じて、
新たな価値を創造し、
お客様から選ばれる
ソリューションパートナー」

お客様の価値向上と
社会課題の解決に貢献し、
事業を通じて、
社会・環境価値を
創出する

2018

2021

2024

2027

2030

Stage 1

Stage 2

Stage 3

Stage 4

土台作り & 基盤強化

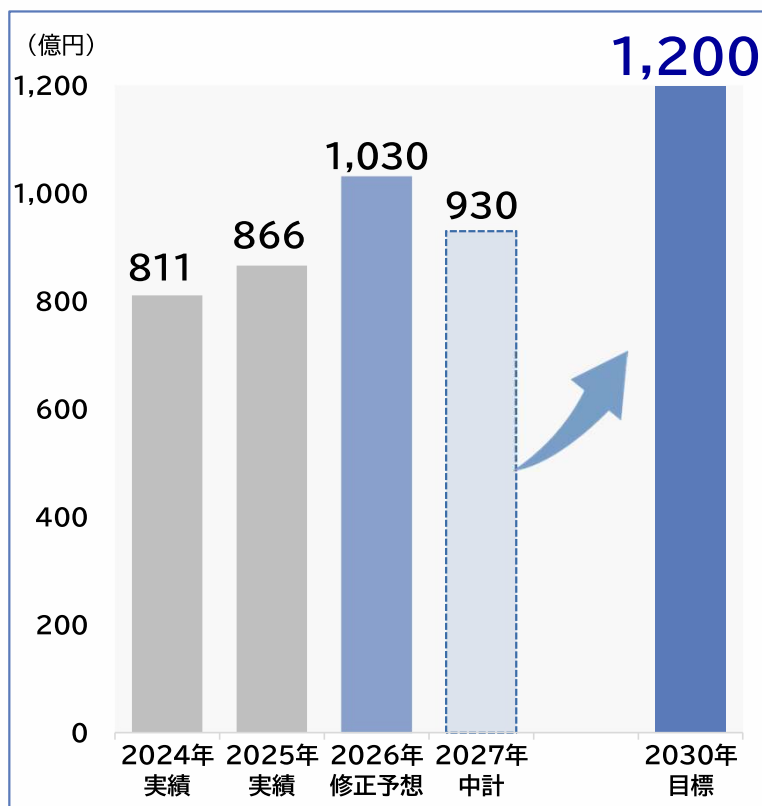
事業領域拡大

経営ビジョン実現

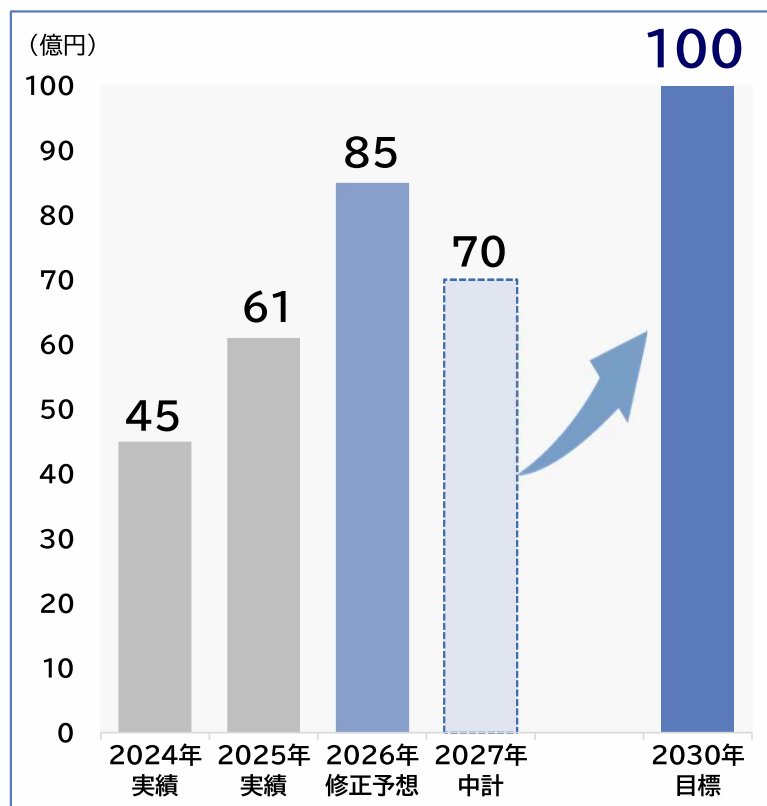
Next10(2030)業績目標とその道筋

2030年に『売上高:1,200億円、営業利益:100億円』の実現を目指す

【連結売上高】



【連結営業利益】



2030年の目標達成に向けて

成長分野 × 成長市場

での事業拡大を強化



成長分野

情報電子、プロセス機能材料、
環境・エネルギー、ライフサイエンス

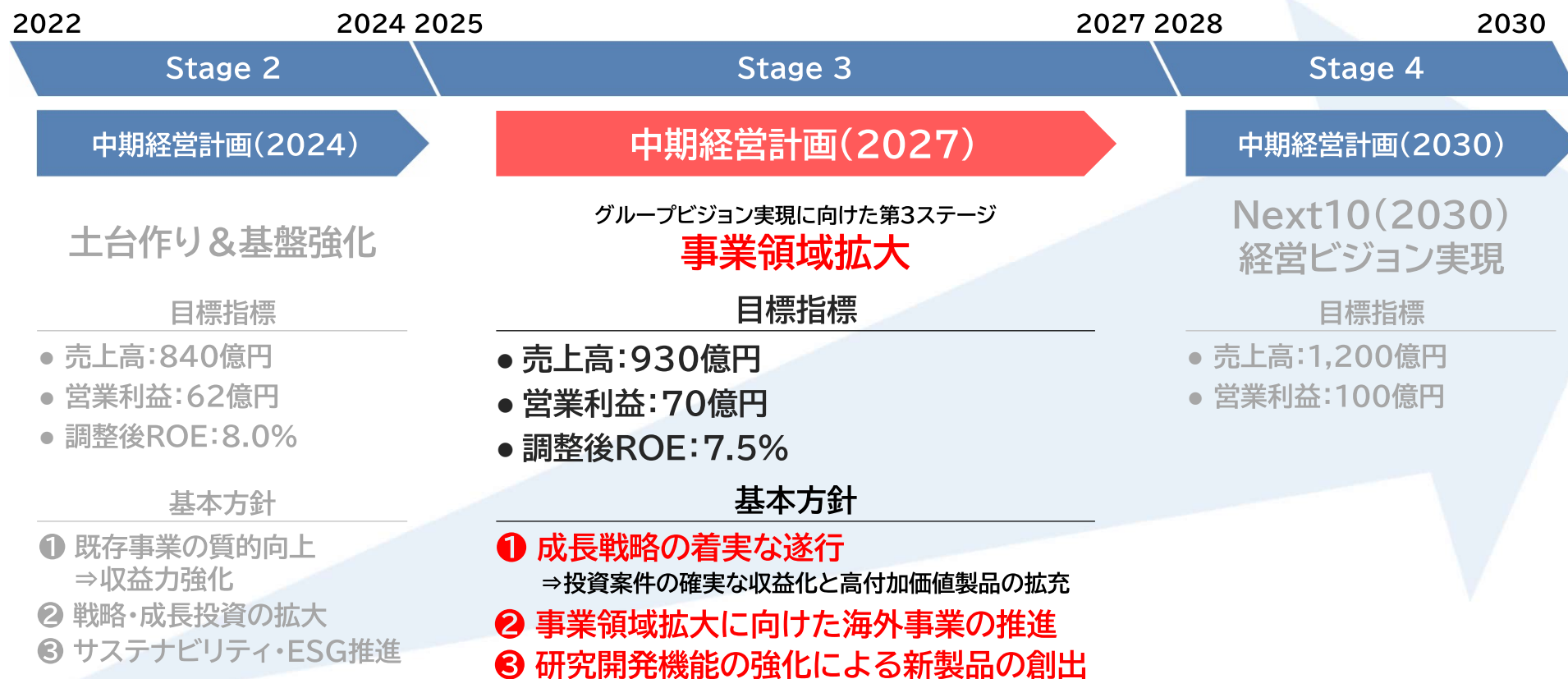
成長市場

海外売上高の拡大



中期経営計画(2027)で
具体的な戦略を実行

中期経営計画(2027) ～事業領域拡大に向けた成長ステージ～

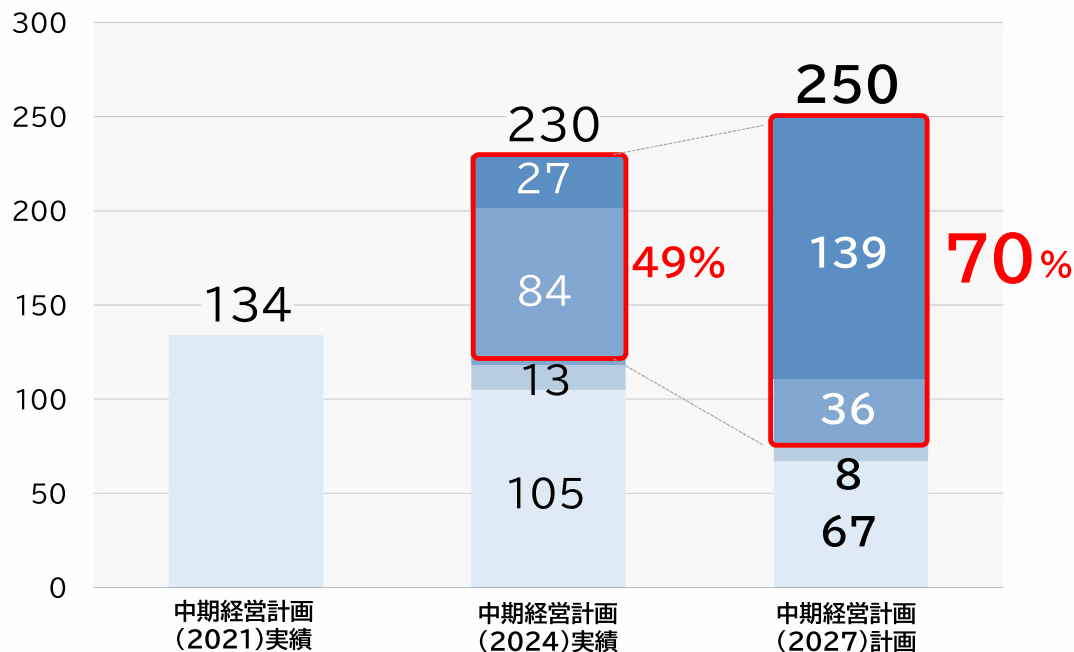


基本方針①：成長戦略の着実な遂行

【中計方針】Next10(2030)実現に向けた投資案件の確実な刈り取りと、成長分野での積極的な投資

設備投資推移(工事ベース)

(億円) ■ 基盤強化投資 ■ 環境・省エネ投資 ■ 成長投資 ■ 戦略投資



主な戦略投資(新事業、M&A等)・成長(拡充)投資案件

セグメント	案 件	投資額
建材	四国地域材を活用した木質構造材料事業	43億円
R&Dセンター	環境エネルギー関連事業他	32億円
合成樹脂	コンバーティング事業	20億円
合成樹脂新規材料	モビリティ部材関連事業	17億円

+

M&A、合併会社の設立など

成長戦略の進捗と成果【まとめ】

M&Aと戦略的パートナーシップにより、成長に向けた基盤を強化

成長分野

①M&A(戦略的買収)

OKURA × **FUJIKO**

- 自動車・情報電子・半導体分野で強固な顧客基盤を確立
- 当社の後工程である『フィルム加工』において卓越した技術を保有

【目的と将来展望】

フィルムの製造から加工までの垂直統合型の開発・生産体制を確立し、成長分野での事業拡大を加速

成長市場

②戦略的パートナーシップ

OKURA × **BOE**

- 中国を拠点とする世界No.1のディスプレイメーカー
- 現在は、偏光板メーカーを経由して取引している間接的な顧客

【目的と将来展望】

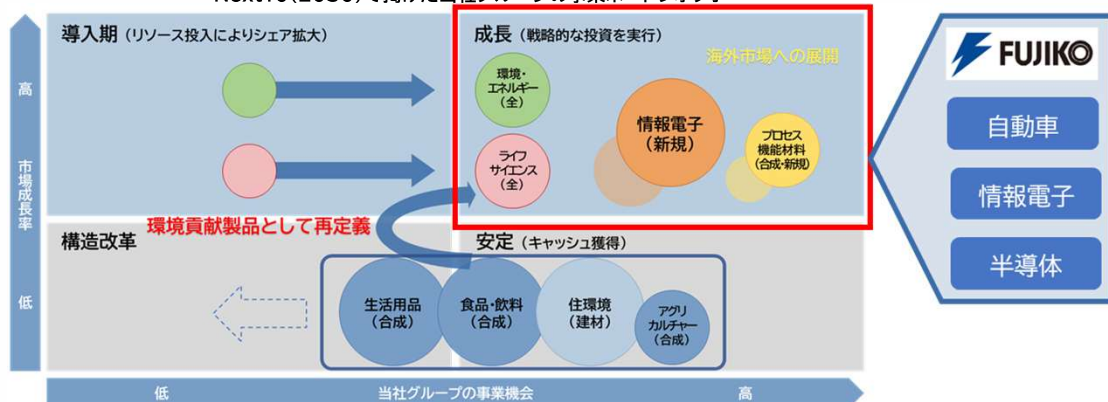
強固なパートナーシップにより、既存光学フィルムの海外展開を加速。将来的には当社製品のデファクトスタンダード化と、新領域への進出を実現

進捗と成果①：【合成樹脂事業】フジコーのM&A

2026年1月に株式会社フジコーの全株式を取得し、連結子会社

【株式取得の狙い① 事業ポートフォリオ変革の原動力】

Next10(2030)で掲げた当社グループの事業ポートフォリオ



フジコーは自動車、情報電子、半導体関連など成長分野で、優れたフィルム加工技術により、顧客との強固な関係を構築している

【株式取得の狙い② 垂直統合型の開発・生産体制の構築】



統合シナジーの確実な具現化と初期成果

調達・販売	グループ調達力の最大活用による原材料コストの適正化、およびブランド力・安定供給を強みとした販売強化により、 営業利益率が2倍に向上
製造	香川県内の生産統合・最適化に着手。生産性向上によるコスト競争力の更なる強化を図る
開発	素材から加工までを垂直統合し、市場優位性の高い新製品の共同開発を推進中

中長期の成長を見据えた先行投資の加速

- 医薬、半導体、情報電子等の成長分野への拡販に向け、フジコーにてグラビアコーティング機の導入を決定

【投資概要】

- ・ 投資金額：11.6億円
- ・ 設置場所：大倉工業 丸亀工場
- ・ 稼働予定：2028年



⇒本投資により2.5億円の営業利益増を見込む

統合効果による収益寄与が拡大する見通しから、**2030年の同社営業利益目標を10億円から15億円へ上方修正**

※ 2026年1月時点での2026年営業利益は5億円を予想

進捗と成果②：【新規材料事業】 BOEとの戦略的パートナーシップ

2026年3月にBOEとの合併契約を締結し、
同社とのパートナーシップを強化

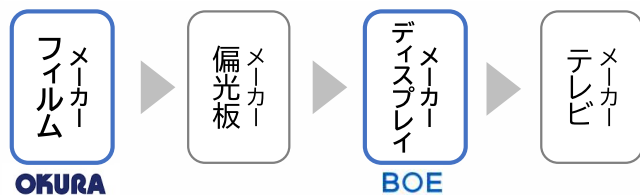
【合併会社の概要】

社名	合肥京倉新材料科技有限公司
所在地	中華人民共和国安徽省合肥市
代表者	王子涛
設立	2026年3月31日
事業内容	ディスプレイ向け偏光板用光学フィルム製造販売
資本金	6億人民元(約134億円)
出資比率	BOE 66%、大倉工業 34%

BOE

- ディスプレイデバイス、スマートシステム、ヘルスサービスを主力とする
世界トップのディスプレイメーカー
- 現在は、偏光板メーカーを経由して
取引している当社の間接的な顧客

【光学フィルムの主な商流(当社とBOEの位置づけ)】



市場拡大と高付加価値化の進展

- TV市場の大画面化傾向の継続に伴い、偏光板需要年率2～4%で伸長
- 高精細、高輝度、広視野角といった性能向上により、液晶テレビの高機能化が進展
⇒ディスプレイ市場の拡大と高付加価値化の牽引役がBOE

BOEとの関係強化による光学フィルム拡大の道筋

現在～合併会社の製造ライン稼働まで

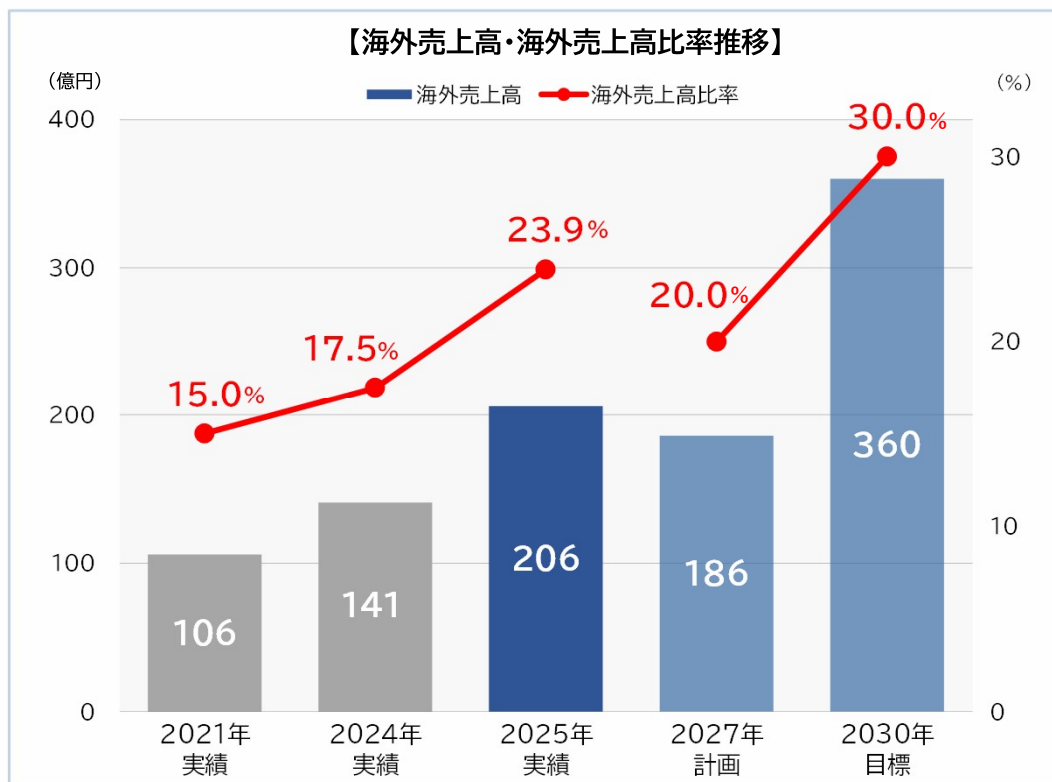
- BOEとの強固なパートナーシップを基盤に、既存光学フィルムの拡販
⇒BOEのハイエンドディスプレイ向けに供給中の、当社高付加価値フィルムを軸に、
同社の市場支配力と販売力を最大限に活用し、市場シェアのさらなる拡大を目指す

合併会社の製造ライン稼働後（2028年以降）

- ハイエンドで培った実績を活かし、高付加価値フィルムの採用範囲を
拡大させることで業界におけるデファクトスタンダードの確立を図る
- 最先端のディスプレイ技術へのアクセスと共同開発を一段と加速させ、
光学フィルムの新たな領域へと進出

基本方針②：事業領域拡大に向けた海外事業の推進 ～現在の取組みと目指す姿～

【中期方針】経営資源を投入し、情報電子・プロセス機能材料を中心に海外向け売上を拡大



海外向け製品の拡販に向けて

- 合成樹脂事業のライフ＆パッケージBUは、海外拠点を活用した製造競争力を強化
- 新規材料事業の光学フィルムは、BOEとの関係強化による光学フィルム拡大を図る

オクラベトナムでの事業開始に向けて

- 2026年4月から稼働を開始し、社内認定用の試作を実施中

基本方針③：研究開発機能の強化による新製品の創出 ～現在の取組みと目指す姿～

【中計方針】新製品テーマ創出・開発・上市のサイクルを加速させ、当社事業をリードする

R&Dセンターを中心に4つの成長領域（情報電子、環境・エネルギー、ライフ＆ヘルスケア、モビリティ）を通じて材料と技術を提供し、人々の生活をより良くすることを目指す

情報電子



LCPフィルム

光学フィルム
(塗工/保護/他)

タッチセンサーフィルム

環境・エネルギー



ペロブスカイト太陽電池

各種複合部材

モノマテリアル

ライフ＆ヘルスケア

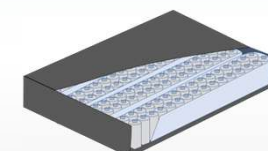


シングルユースバッグ

手術支援ロボットドレープ

植物抽出 食品包装用フィルム

モビリティ



自動車用天井材

塗装代替フィルム

EV向け接着剤

ESG経営によるサステナビリティの推進

中期経営計画(2027) 方向性

非財務資本を強化し、社会的価値を追求することによって、持続可能な経済的価値を創出する

非財務資本の強化

自然資本	● 持続可能な資源の利用(脱炭素経営の推進)
人的資本	● 人的資本投資の加速、女性活躍・健康経営の推進
知的資本	● イノベーションの創出と知的財産権の取得 ● DX推進による生産性の向上と業務の効率化
製造資本	● 製造における知識の深化と経験の共有
社会関係資本	● 奉仕活動、地域ビジネスへの参画 ● ステークホルダーとの対話促進と情報開示

社会的価値の追求と経済価値の創出

- 環境貢献製品の創出と拡大
- 四国森林資源の利用促進
- サステナブル調達の推進
- 関係法令の遵守とコンプライアンス違反の撲滅



ESG経営によるサステナビリティの推進 ～四国森林資源の利用促進～

【事業の流れ】

事業パートナー

<森林資源>



<製材(ラフ・ラミナ)>



<JAS製材・集成材>



<木材・部材加工>



<建設>



オークラハウス・協力業者など
オークラプレカットシステム・



高瀬工場

- 2025年3月:集成材工場棟竣工
- 2025年4月:工場操業業務を受託する子会社(株)オークラBMワークスを設立
- 2026年4月:事業開始。製造は計画通りに推移
- 2026年8月:JAS製品の製造・販売を開始

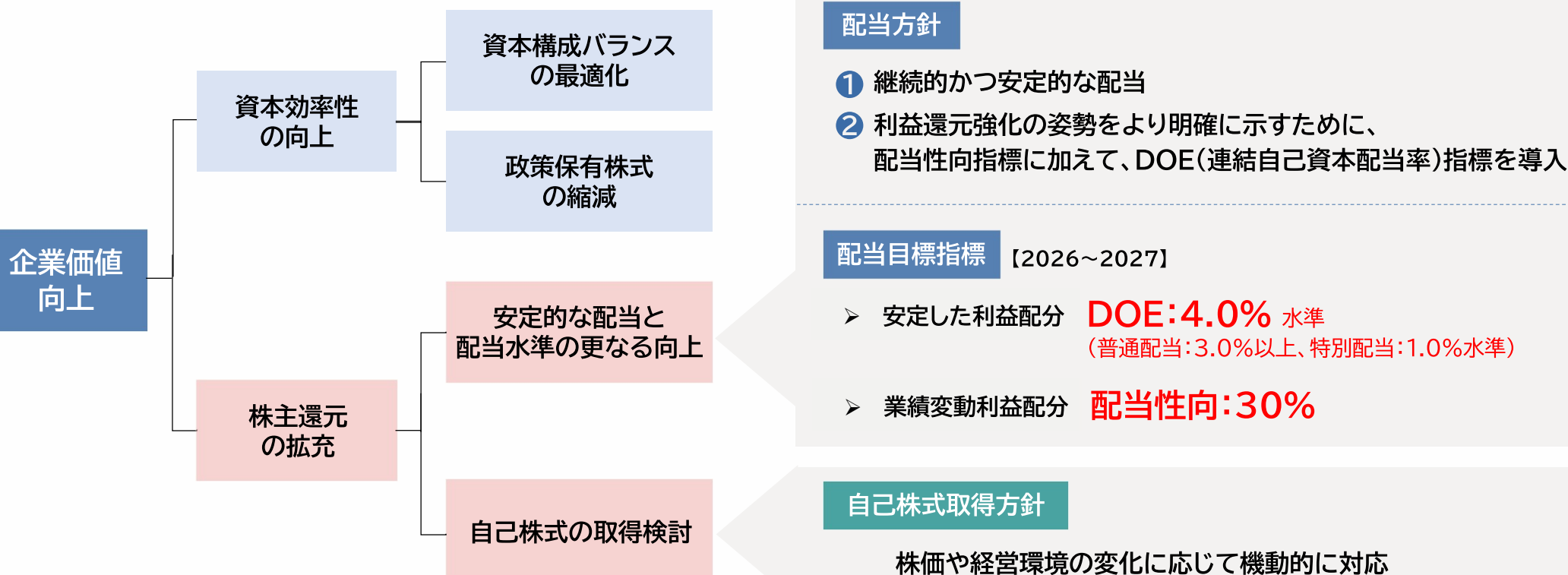
四国地域産の木材と技術を最大限に利活用し、
事業拡大、脱炭素社会を実現

4. 株主還元・株主優待

企業価値最大化に向けた財務戦略と株主還元方針

PBR1倍早期達成を通過点とし、資本効率性向上と株主還元拡充によって株主価値の最大化を追求

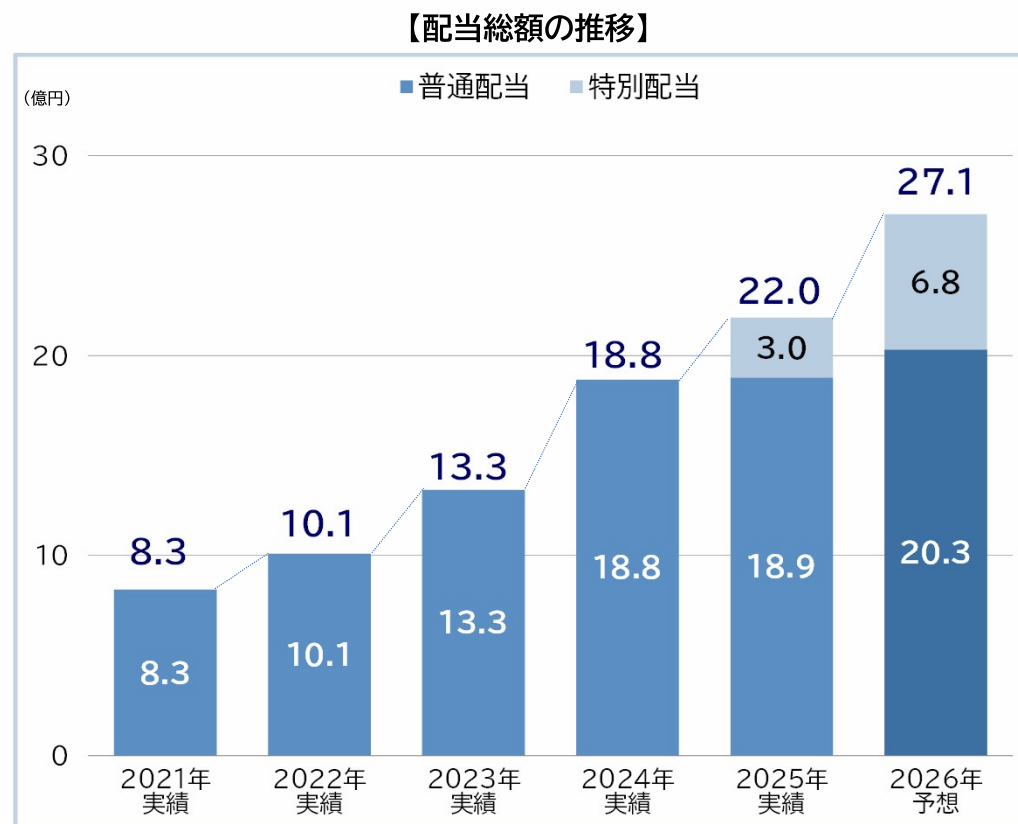
【中期経営計画(2027)における財務戦略の全体像】



業績成長に連動した株主還元の拡充

当期純利益の増益を踏まえ、2026年の1株当たり配当金を当初予定の220円から240円へ増額

	2024年実績		2025年実績		2026年予想	
DPS (1株当たり配当金)	160円		195円		240円	
中間／期末	55円	105円	95円	100円	110円	130円
DOE (連結自己資本配当率)	3.0%		3.5%		4.1%	
配当性向	44.6%		58.2%		47.1%	
配当利回り	5.3%		4.0%		4.3%	
	(2024年12月末時点)		(2025年12月末時点)		(2026年7月末時点)	



地域の魅力を届ける当社独自の株主優待

当社は、株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社グループの事業内容を一層ご理解いただくことを目的に株主優待を実施しております。

毎年12月31日現在における所有株数に応じて株主優待を贈呈しております。

単元株数	100株
100株以上 1,000株未満	QUOカード(クオカード)： 1,000円分×1 枚 オークラホテル丸亀ホテルご利用券： 1,000円分×2 枚
1,000株以上 2,000株未満	QUOカード(クオカード)： 2,000円分×1 枚 オークラホテル丸亀ホテルご利用券： 1,000円分×4 枚
2,000株以上	QUOカード(クオカード)： 3,000円分×1 枚 オークラホテル丸亀ホテルご利用券： 1,000円分×6 枚

瀬戸内コンフォート。

瀬戸内の心地よさを、他にはないここだけのロケーションで。



私が大切にしている価値観

絆

免責事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の売買を勧誘することを目的としたものではありません。



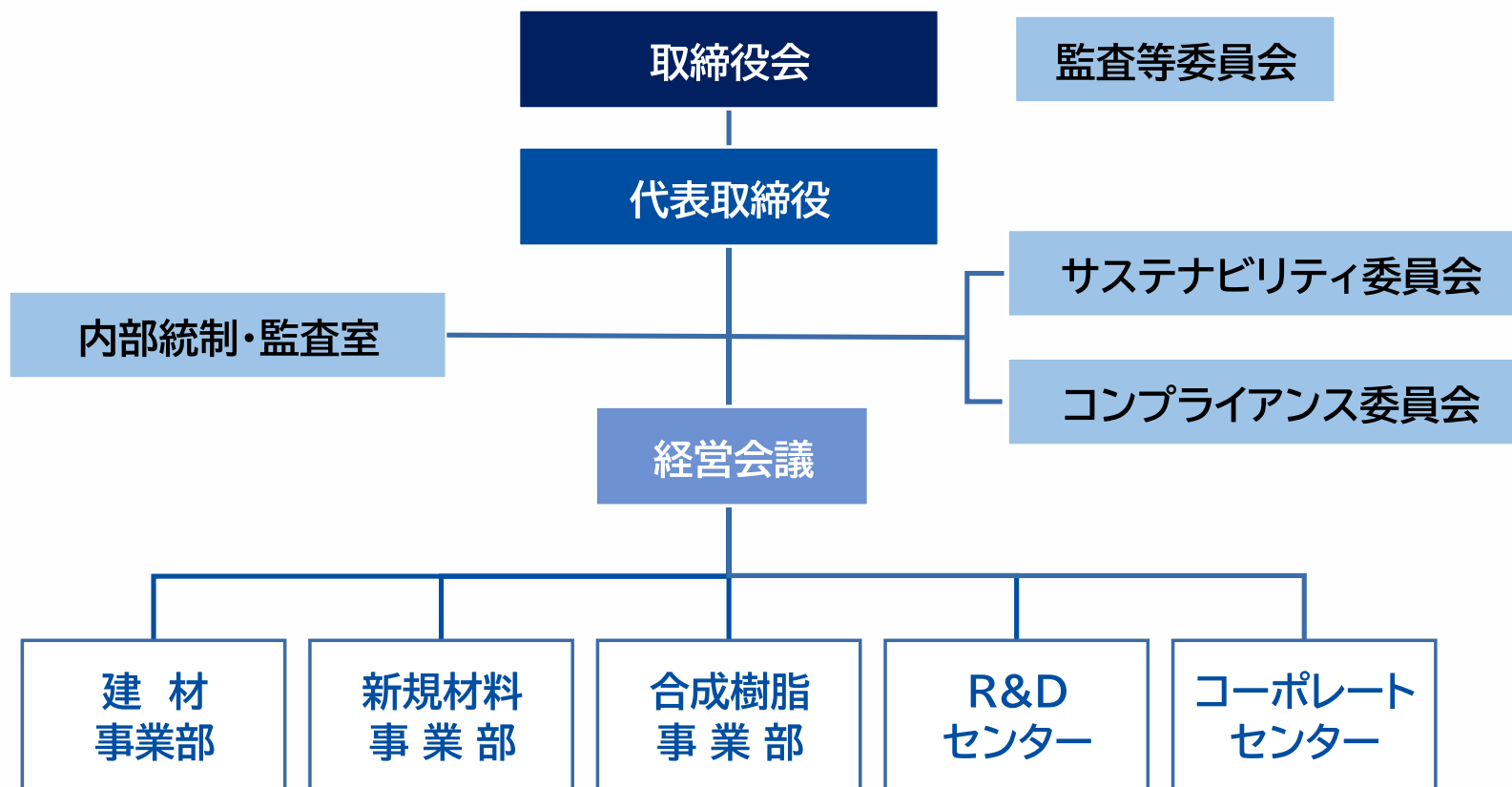
個人投資家向け会社説明会

END

2026年8月3日
 大倉工業株式会社
証券コード：4221

4. 参考資料

組織図



事業所とグループ会社

コーポレートセンター

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508
TEL 0877-56-1111(代表)

新規材料事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508
TEL 0877-56-1130(代表)

A棟・C棟・D棟(本社構内)、B棟(丸亀工場第
二内)、北棟・G棟・H棟(仲南工場内)、上海駐
在員事務所(中国)

R&Dセンター

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508
TEL 0877-56-1120(代表)

合成樹脂事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508
TEL 0877-56-1150(代表)

東京支店、大阪支店、四国営業所(本社構内)
丸亀工場、仲南工場

建材事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508
TEL 0877-56-1258(代表)

詫間工場、高瀬工場

グループ会社

(株)KSオークラ
(株)九州オークラ
(株)埼玉オークラ
(株)カントウ
(株)オークラプロダクツ
(株)オークラパック香川
(株)ユニオン・グラビア
(株)フジコー
(株)オークラプレカットシステム
(株)オークラハウス
(株)オークラBMワークス
オークラホテル(株)
オークラ情報システム(株)
大宝(株)
オー・エル・エス(有)
大友化成(株)
大倉産業(株)
無錫大倉包装材料有限公司
尤妮佳包装材料(天津)有限公司
OKURA VIETNAM CO., LTD.
合肥京倉新材料科技有限公司
中讃ケーブルビジョン株式会社

コーポレートセンター
R&Dセンター
合成樹脂事業部
新規材料事業部 (A・C・D棟)
建材事業部

詫間工場

高瀬工場

仲南工場
新規材料事業部(北棟・G棟・H棟)

丸亀工場
新規材料事業部(B棟)

東京支店

大阪支店

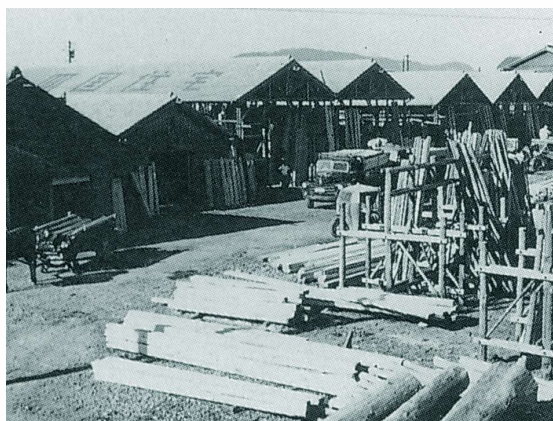
中国:上海駐在員事務所

創業の精神

～従業員を守り、社会に役立つ～

創業者の松田正二が、第二次世界大戦後、「部下とその家族の生活を守りたい」、「戦災で家を失った人々に必要な住宅を提供したい」という思いで、香川県高松市で事業を開始しました。

この「従業員を守り、社会に役立つ」という創業の精神は、時代が変化しようとも忘れてはならない精神であり、誇りに思い大切にしています。



大倉工業の由来

創業者 松田正二が
長年お世話になった

倉敷紡績 社長

大原総一郎氏

松田正二が
10年勤めた

倉敷紡績株式会社

「将来は倉敷紡績より大きくなりたい」という希望を込めて...

1955年11月 **大倉工業株式会社** とした

沿革 | 戦災後の混乱期からの出発

1945	岡内製材所として製材・小型の復興住宅を販売
1946	四国住宅製材所に商号変更
1947	四国住宅株式会社を設立
1949	高松(東浜町)にて木材市売りを開始
1951	四国実業株式会社に商号変更 倉敷ビニロンを発売
1952	丸亀(城西町)にて木材市売りを開始 ※

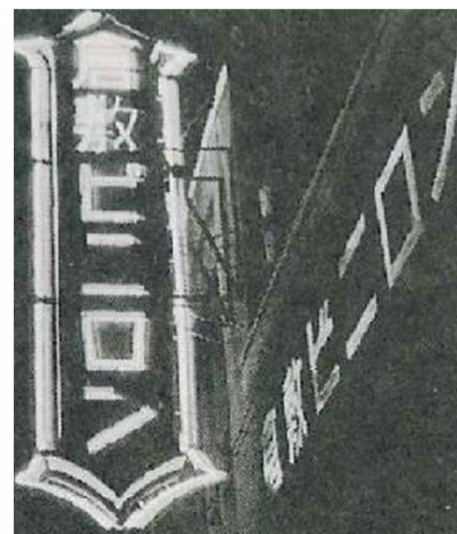
※1955年に丸亀(港町)に移転



高松製材所の風景



木材市売の四国住宅の頃



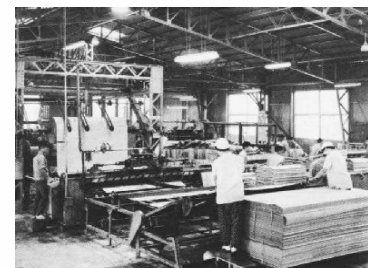
四国実業の事務所とネオンサイン

沿革 | 第一世代の偉大な歩み

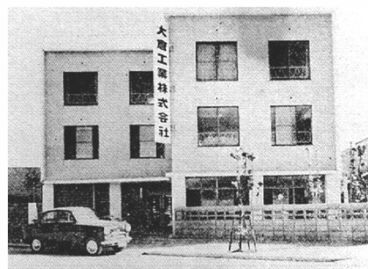
1955	【全体】大倉工業株式会社に商号変更
1956	【合成】ポリエチレンフィルム加工製造開始(港町)
1959	【合成】東京工場操業開始
1962	【全体】大阪証券取引所第2部市場に株式上場 【合成】本社工場操業開始 【建材】ラワン合板生産に進出、石膏ボード製造開始
1963	【他】「大倉産業(株)」を設立
1964	【建材】プリント合板製造開始
1966	【他】ハウス事業部を新設し、 土地造成並びに住宅建て売り事業開始
1967	【全体】東京証券取引所第2部市場に株式上場 【合成】埼玉工場操業開始



ハウス部設立当時の建売物件



ベニア合板工場構内



高松本社ビル



高松(新材木町)本社



丸亀(港町)工場



本社工場構内

沿革 | 第二世代による事業の拡大

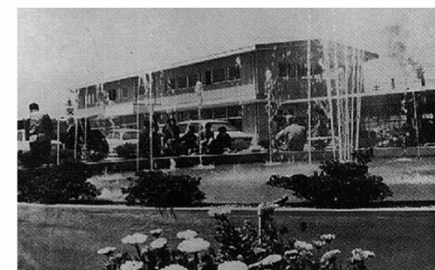
1968	【建材】詫間工場操業開始、【他】冷凍倉庫事業開始
1969	【建材】「大友化成(株)」を設立
1970	【全体】東京・大阪両証券取引所第1部市場に株式上場
1971	【建材】パーティクルボード製造開始
1972	【全体】本社を香川県丸亀市に移転
1973	【他】「オークラホテル高松」がオープン
1976	【建材】パーティクルボード二次加工開始(メラハーケン)
1977	【合成】丸亀第四工場操業開始
1984	【合成】「(株)カントウ」を設立
1987	【全体】ホテル事業部と新規材料事業部を新設
1988	【他】「オークラホテル丸亀」がオープン
1992	【他】「オークラ情報システム(株)」、 【合成】「(株)ユニオン・グラビア」を設立 【合成】丸亀第五工場操業開始 【他】「(株)岡山ビジネスホテル」運営開始
1995	【合成】「(株)オークラパック香川」、 「無錫大倉包装材料有限公司」を設立 【合成】仲南工場操業開始



オークラホテル丸亀



新規材料事業部(A棟)



丸亀(中津町)移転後の本社

沿革 | 新たな半世紀を見据えた第三世代

2000	【新規】C棟竣工、「オー・エル・エス(有)」を設立
2001	【合成】福岡・熊本の2工場を統合し九州工場操業開始
2003	【他】「株オークラハウス」を設立
2004	【全体】第一次中期経営計画がスタート 【新規】D棟竣工 【合成】「株九州オークラ」を設立
2006	【合成】「株OKプロダクツ岡山」、 「株オークラプロダクツ香川」を設立
2007	【全体】コーポレートセンター及びR&Dセンターを新設 【全体】第二次中期経営計画がスタート 【合成】「株関西オークラ」、「株関東オークラ」を設立
2009	【他】「株オークラプレカットシステム」を設立
2010	【全体】第三次中期経営計画がスタート



新規材料事業部(C棟)



新規材料事業部(D棟)

VISION21 国際競争で優位に立てる大倉工業

沿革 | 第四世代 技術優位な企業集団を目指して

2012	【合成】「尤妮佳包装材料(天津)有限公司」を設立
2013	【全体】第四次中期経営計画がスタート
2014	【新規】G棟操業開始 オー・エル・エス新ライン増設 【合成】関西オークラ新工場(第3工場)操業開始
2016	【全体】第五次中期経営計画がスタート 監査等委員会設置会社に移行 【合成】「(株)オークラプロダクツ」を設立
2017	【全体】会社創立70周年
2018	【他】「オークラホテル(株)」が「(株)岡山ビジネスホテル」を吸収合併
2019	【全体】経営ビジョンNext10、第六次中期経営計画がスタート 【合成】「(株)埼玉オークラ」を設立



新規材料事業部(仲南G棟)



関西オークラ(第3工場)

Next10(2030) ~次の10年に向けたありたい姿~
「要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー」

沿革 | 第四世代 技術優位な企業集団を目指して

2022	【全体】Next10をNext10(2030)に改訂 中期経営計画(2024)がスタート 【合成】「(株)KSオークラ」を設立
2023	【新規】「OKURA VIETNAM CO., LTD. (オークラベトナム)」を設立
2024	【新規】H棟操業開始 【建材】(株)オークラプレカットシステムを三豊市高瀬町に移転
2025	【全体】中期経営計画(2027)がスタート 【建材】「(株)オークラBMワークス」を設立 【新規】上海駐在員事務所を設立 【合成】東京支店を東京都千代田区麴町に移転
2026	【合成】「(株)フジコー」をグループ会社化 【新規】「合肥京倉新材料科技有限公司」を設立 【建材】「高瀬工場」の操業開始 【合成】丸亀第四工場・丸亀第五工場の2工場を統合し丸亀工場の操業開始



新規材料事業部
「OKURA VIETNAM CO., LTD」



新規材料事業部(H棟)



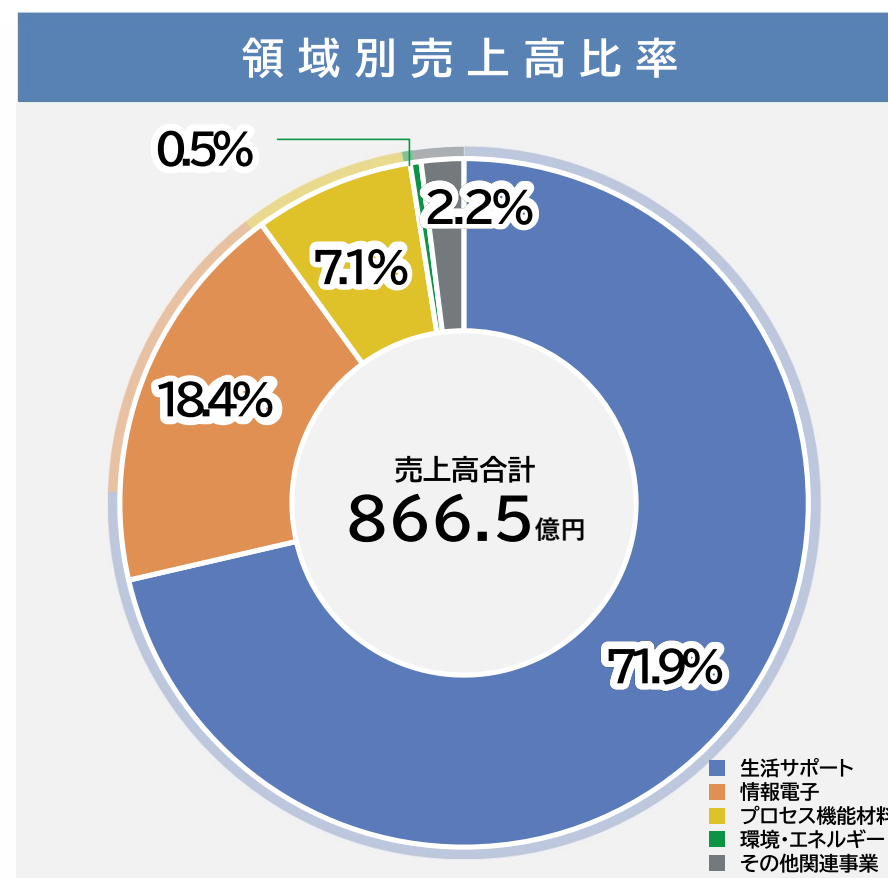
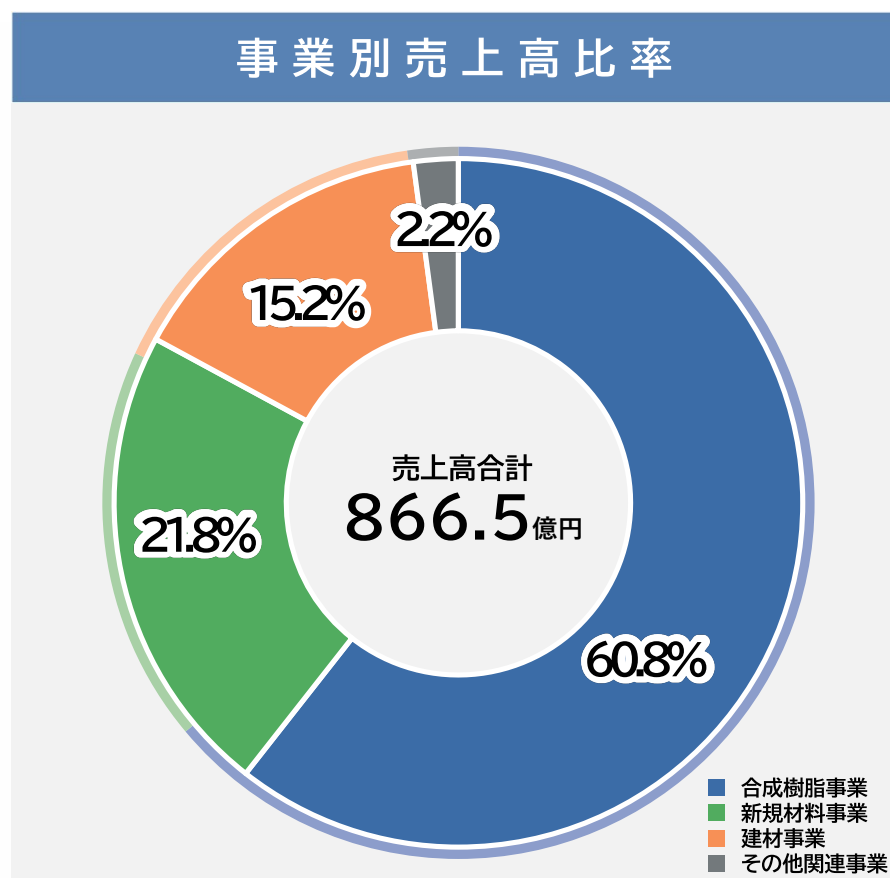
(株)オークラプレカットシステム



移転後の東京支店エントランス

Next10(2030)～次の10年に向けたありたい姿～
「要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー」

事業別、領域別売上高比率



※2025年12月実績

事業紹介 | 合成樹脂事業 【売上高構成比:60.8%】

ライフ & パッケージ BU

シュリンクフィルム

中間物流用の重量物包装や集積包装、食品を直接包装するものなど、オリジナルのデザインや形状を生かしたまま、商品をより美しく安全に包み込む。用途に応じた独自の機能を付与すると共に、印刷などの二次加工や包装システムなどを提案。

【用途例】乳酸菌飲料集積用、カップ麺、酒パック等の包装フィルム、食品トレイ包装用バリアフィルム



軟包材

ナイロン・ポリエステル・ポリエチレンなどのさまざまなフィルムを貼り合わせるにより、それぞれの特性を活かした機能的な複合フィルム。冷凍食品の包装やIC基盤の保護用フィルム、詰め替え用のスパウト付きラミネート袋など、身近なところから最先端の電子材料にまで幅広く提供。

【用途例】食品、洗剤、柔軟剤、シャンプー、ペットフード、お菓子等



リキッドパック

液体包装容器の総称であり、段ボール箱内で使用されるバグインボックスとドラム缶内で使用されるバグインドラムに大別される。醤油などの食料品や化学薬品などの液体輸送の合理化に寄与。

【用途例】ミネラルウォーター、油脂加工製品、調味液(醤油、ソース等)、液体肥料、液体洗剤、接着剤



事業紹介 | 合成樹脂事業 【売上高構成比:60.8%】

プロセスマテリアルBU

電子・エネルギー・住宅・医療など様々な分野の主材や基材を提供。液晶パネルに使用される位相差フィルムの保護用フィルムなど、独自の樹脂ブレンドノウハウ・高い製膜技術・徹底した品質管理で最適なソリューションを提供。

【用途例】光学、電子、電気製品、自動車、ユニットバス壁面、ドア・クローゼット・床などの建装材など



ベーシックマテリアルBU

規格袋・ごみ袋・包装/梱包荷材など、各種既製品はもとより、食品・衛生材料・家庭紙・日用雑貨・産業資材・医薬・洗剤・化粧品・印刷出版物など幅広い分野で製品の包装に使われているポリエチレンフィルムを提供。

【用途例】規格袋、日用品、食品用パッケージフィルム、衛生材料用フィルム



アグリマテリアルBU

農業用の機能性フィルムであり、全国の農家から親しまれている製品。農作業の省力化と作物の収穫増のために、保温・地温上昇抑制・害虫忌避・抗菌・生分解といったさまざまな機能を持つ製品をラインアップ。

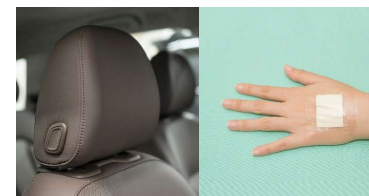
【用途例】農業用フィルム、肥料の保存



事業紹介 | 新規材料事業【売上高構成比:21.8%】

機能材料BU

TPEチーム (ウレタンエラストマーフィルム)	ゴムの柔軟性とプラスチックの強度・硬度を併せ持つ熱可塑性ポリウレタンエラストマー樹脂(TPU)を押出形成したフィルム。透湿性、耐摩耗性、耐候性など、優れた特性を有する各種グレードを医療用途や自動車部材など各分野に提供。 【用途例】創傷用被覆保護ドレッシング、プリント接着用シート、ヘッドレスト等の発泡ウレタン注入成形用フィルム、ペイントプロテクションフィルム
BLTチーム (シームレスベルト・高機能ローラ)	カラープリンターの高画像、高速化に必要なキーパーツとして、優れた電子機能を持つベルトやチューブをプリンター・複写機メーカーに提供。 【用途例】LBP用中間転写ベルト、クリーニングローラ、転写ローラ
ADHチーム (無溶剤型アクリル系接着剤)	二液硬化、嫌気硬化、紫外線硬化の3種類の硬化系をラインナップ。車輻・電気・鋼板・鋳型模型からゴルフクラブまで幅広い市場に提供。 【用途例】モーターマグネット(電気自動車部品)、塗装鋼板、ゴルフクラブ、鋳型模型
MEDチーム (医療関連)	クリーンルームでのフィルム加工技術、各種フィルムのハンドリング経験を活かし、医療用分野へ新たな製品を展開。医療現場のニーズに応える製品を提供。 【用途例】内視鏡用ウイルス防御システム、吸水機能付き検査パンツ、手術支援ロボット用ドレープ



事業紹介 | 新規材料事業【売上高構成比:21.8%】

電子材料BU（加工）／光学材料BU（製膜延伸）

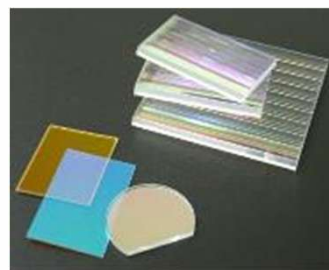
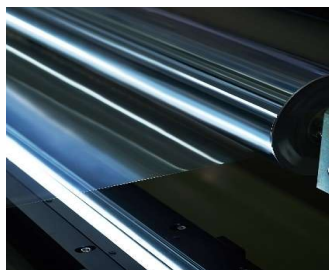
LMCチーム

KEチーム

CTチーム

MCSTRチーム

大型から中小型サイズのフラットパネルディスプレイを始め、タッチパネルや液晶プロジェクターなど、電子表示体に不可欠なキーパーツとなる各種光学機能性フィルムをフラットパネルディスプレイメーカー等に提供。これらの高性能化、多様化を支え、新たな応用分野の開拓に貢献。



事業紹介 | 建材事業【売上高構成比:15.2%】

木質パネルBU

パーティクルボード (素板)

木質廃材を細かくしたチップに接着剤などを混ぜた原料を高温でプレスし固めたパーティクルボードを製造。木質廃材を焼却せず製品としてリサイクルしており、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に寄与。

【用途例】 フローリング、耐力壁、ドア、棚板、キッチン扉、キャビネット材



パーティクルボード (加工ボード)

パーティクルボードに紙やオレフィン等の化粧シートを貼ったラミネートボード。素板の表面平滑性を最大限に活かした高意匠の化粧板をキッチンメーカー等に提供。

【用途例】 棚板、キッチン扉、キャビネット材



事業紹介 | 建材事業【売上高構成比:15.2%】

木 構 造 B U

集成材事業

(株式会社オークラ
BMワークス)

ラミナと呼ばれる挽き板を積層接着した構造材料である集成材の製造し、2026年8月よりJAS品の販売を開始。原材料となるラミナは四国地域を中心とした国産材を活用し、四国の森林資源の循環利用と持続可能な森林経営、脱炭素社会の実現に貢献す。

【用途例】 建物の梁・桁等



木材加工

(株式会社オークラ
プレカットシステム)

プレカット材や、構造用耐力面材と断熱材などがセットになった省施工構造断熱パネルを提供しており、現場での安全かつ省施工な作業を実現し、職人や大工の労力軽減に寄与。株式会社オークラプレカットシステムは香川県三豊市に本社を置き、木造建屋宅用構造材加工(プレカット加工)及び木造建屋用資材(建築金物・基礎素材等)の仕入販売を実施。

【用途例】 建物の柱・梁・桁等



建築・土地造成

(株式会社オークラハウス)

県内の新築住宅建築を手掛ける。エネルギー収支ゼロを目指したゼロ・エネルギー住宅や国土交通省が定めた耐震性能最高等級「耐震等級3」相当で建てるなど、快適に安心して永く住んでもらう住宅を提供。株式会社オークラハウスは香川県丸亀市に本社を置き、新築以外にもリフォームも手掛けている。

【事業例】 分譲住宅、注文住宅、リフォーム

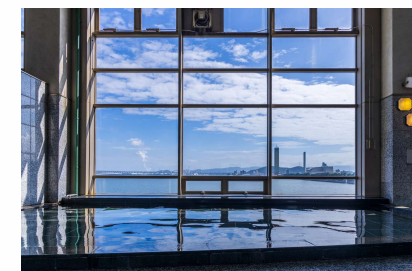


事業紹介 | その他関連事業【売上高構成比:2.2%】

ホテル事業

オークラホテル 株式会社

香川県丸亀市に本社があり、オークラホテル丸亀を運営。瀬戸内海に面した立地条件を活かしたパノラマいっぱいの開放感に包まれる展望風呂や瀬戸内の食材を使用した絶品グルメで上質なホテルステイをお約束。



情報処理事業

オークラ情報 システム株式会社

香川県丸亀市に本社を構え、中核IT企業として大倉工業グループのシステム全般を設計から開発・運用保守まで一貫して担い、安定稼働を支えている。また、薬局向け業務支援システムを全国に展開し、事業領域を拡大。



鑑査レンジ® Packs2

一発化刷印刷システム | KANSA RENJI Packs2